

「生活に密着したウォーキング普及事業」実施業務 仕様書

1 業務の名称

「生活に密着したウォーキング普及事業」実施業務

2 業務委託期間

契約締結日から令和3年(2021年)3月31日(水)まで

3 業務の目的

札幌市では健康寿命延伸を目標に掲げており、東区においては、アクションプラン2019の計画の中で、誰もが日常的に気軽に行うことのできる取り組みとしてウォーキングを行うこととした。

そこで、本事業ではターゲットを3つの層(子育てをしている層、子育てがひと段落して働いている層、仕事をリタイアし時間的なゆとりの有る層)(以下「子育て層、稼働層、ゆとり層」という。)に分け、各々の層に相応したウォーキングスタイルを提案して行うことで、健康意識を高め、一過性で終わらずに継続的な取り組みとして浸透していくことを目的とする。

4 業務の概要

3つの層(子育て層、稼働層、ゆとり層)各々の層に相応した「(仮称)運動手帳」(以下「手帳」という。)や「(仮称)運動アプリ」(以下「アプリ」という。)を作成し配布する。

手帳やアプリに、東区内のウォーキング意欲を高める立ち寄りポイントを設けるなど、夏冬関係なく一年を通して日常生活の中で気軽に取り組めるウォーキングの仕掛けづくりを行う。

また、年1回、上記手帳保持者・立ち寄りポイントとなった商店等・町内会が集まった交流イベントを実施し、達成感の享受や更なる意欲喚起を図ることで、継続した取り組みに繋げる。

5 事業費

4,869,000 円を上限とする。(消費税及び地方消費税額を含む。)

なお、契約金額は別途決定する。

6 業務の内容

(1) 対象別(子育て層、稼働層、ゆとり層)の手帳やアプリの作成

ア ウォーキングニーズに関する情報収集

○東区内のウォーキング関係団体の活動状況に関する調査を行う。

ウォーキング団体数、各団体の概要及び活動状況等について把握する。

○手帳及びアプリの内容検討のため、各世代に適した運動メニューやウォーキングの普及方法等について、東区内の事例等を調査する。

○各対象のウォーキングに関する現状の取組状況やニーズについて、地域の会合の参加者や東保健センターの利用者等へのヒアリング等を通じて把握する。

○タッピーフレンズ企業(注※)を中心とした東区内の企業に対し、社員の運動・ウォーキングの取組状況や、今後のウォーキングの普及活動への協力意向等に関する Web アンケート調査を行う。

(注※) タッピーフレンズ企業とは

まち美化プログラムの参加企業、まちづくりパートナーシップ協定の締結企業など、東区のために活動してくれている企業を「タッピーフレンズ」として、東区が紹介している。

(「タッピー」は、東区のマスコットキャラクターの名称)

○東区内の立ち寄りポイントについて、各地域で作成しているマップの収集、現地調査等により情報収集を行う。

イ 手帳やアプリの作成

手帳やアプリの内容企画、作成、校正、印刷製本を行う。作成部数は、3,000部(子育て層、稼働層、ゆとり層の各々に合った手帳を各1,000部)。

対象者のニーズに合わせて、紙製の手帳やアプリ版の手帳を製作することとする。

内容については、上述アで収集した内容のほか、以下の点を踏まえることとする。

① 各対象の特徴の反映

子育て層、稼働層、ゆとり層の3つにカテゴリー分けする際に、以下の点を反映させることとする。

○子育て層は、比較的時間的ゆとりがないことから、日常の買い物で、一つ遠くのスーパーまで出掛けたり、スーパーをはしごしたり、大型施設内の各売り場を巡るなどの工夫をすること。

○稼働層は、比較的時間的ゆとりがないことから、通勤途中に一駅多く歩く等の工夫をすること。

その際は、企業と協働し、社員への啓発も検討すること。

○ゆとり層は、比較的時間的なゆとりと健康意識があり、仲間を誘って出掛けるといったことがやりやすい層ということを踏まえること。

② 手帳及びアプリの項目・構成・内容・デザイン

○ウォーキングメニュー、お薦めウォーキングコース、夏場・冬場の立ち寄りポイント、目標歩行時間等を掲載する。対象別にウォーキング提案を行い、無理なく継続できるコツを紹介する。

○ウォーキング時間の記録欄と訪れた立ち寄りポイントのチェック欄等を設ける。その際、何時間歩いたか、何箇所行ったかなどが目で見やすく分かるように表示する。歩数や歩行時間を身近で分かりやすく表現し、達成感を持てるようにする。

○夏場と冬場の立ち寄りポイントを設け、夏場は商店街の隠れ家的なお店やコミュニティカフェを巡り、冬場は大型施設内の各売り場を巡るなど、1年を通じて日常的に歩ける範囲内で、スタンプラリー感覚でウォーキングを行える仕組みをつくる。

○作成に当たっては、各対象の特性に応じて利用しやすい内容とするとともに、紙ベースの手帳については、携帯しやすい大きさや形状に配慮し、親しみや愛着の持てるデザインとする。アプリ版についても、親しみやすいデザインとし、分かりやすい構成・内容とする。

ウ 手帳の配布

○手帳の配布方法、周知方法を検討し、効果的に配布する。

○PR用チラシを作成・印刷する。

○配布に当たっては、各対象の特性に応じて、多くの区民が手に取る配布

機会や場所等を考える。

エ 景品の準備（購入）

○手帳を配布し（アプリを公開し）、ウォーキングに取り組み、目標を達成した方に対し配布する景品を準備する。

○タッピーフレンズ企業に協力意向を確認したうえで、協力が得られた企業に対して、景品の提供についての調整を行う。

(2) 試行的取組

上述(1)アにおいて情報収集を行った各対象者に、手帳やアプリの暫定版を配布（公開）し、これらを活用したウォーキング活動を試行的に実施し、活用してみた感想等について検証を行う。

(3) 交流イベントの実施

ア イベントの企画・準備

年に1回、東区内の施設等において、町内会、企業、手帳所持者及びアプリ活用者が一堂に会して、手帳やアプリの活用促進、ウォーキングを通じた健康寿命延伸への意識向上等を目的とした交流イベントを実施する。

イ 成果の顕彰

各町内会でウォーキング活動に取り組んできた代表者、ウォーキング活動の普及を行っている企業、手帳やアプリのポイント達成者を紹介し表彰するコーナーを設ける。

ウ ウォーキングミニコース、立ち寄りポイント商店の出店

イベント内に手軽にウォーキングを楽しめるコースや、立ち寄りポイントとなった商店のブースを設け、楽しみながら参加者が交流を図れるイベントを企画・実施する。

エ 地元の著名なアスリート等による講演

地元の著名なアスリート等に講話を依頼し、ウォーキングへの取組継続につながる意欲喚起を行う。

なお、講師選定に関する費用は札幌市が負担する。

オ PR用チラシ・ポスターの作成・印刷

7 検証・課題の整理と報告書の作成

ウォーキング参加者数（手帳所持者、アプリ活用者、交流イベント参加者）及び同参加者の感想・ニーズを把握し、実施内容の検証を行うとともに、次年度以降の実施に向けた課題の整理を行う。

当検証・課題の整理には、前述 6 (1)アの情報収集及び 6 (2)の試行的取組の検証も含むものとする。

それらの検証・課題の整理を含んだ業務報告書を作成し提出すること。

報告書はA 4とし、印刷した紙ベースを1部、電子データ一式をWORD 若しくはEXCEL データ及びPDF データとしてCD-R 又はDVD で作成し提出すること。

8 その他

- (1) 本業務の実施にあたっては、委託者と連絡・打合せを密にして作業を実施し、疑義が生じた場合は、委託者と協議のうえ、その指示に従うこと。
- (2) 本仕様書に定めのない事項については、委託者と協議のうえ、決定すること。
- (3) 委託者は、必要に応じて、事業実施状況について、随時報告を求めることができる。
- (4) 受託者は関係法令を遵守し、誠実に業務を遂行すること。
- (5) 受託者は、個人情報の保護については、「個人情報保護法」及び「札幌市個人情報保護条例」の規定を遵守し、業務を通じて知り得た個人情報を、本業務の履行期間及び履行後において第三者に漏らしてはならない。
- (6) 本業務により生じた成果物の著作権やデータ等は委託者に帰属する。